

# スサノオ伝説・神島

神話の夢舞台、島根県 —  
出雲大社から石見銀山へ向かう道中、  
水平線が西へと抜ける、小さな集落があります。  
神話を伝え、共に生きてきた町、五十猛。  
ここは、日本の国造りの祖、スサノオノミコトが  
息子のイソタケルノミコトらと共に、  
新羅國から渡来し、上陸された地と  
言い伝えられています。  
古の神代の時代に思いを馳せる。  
幾世紀もの時間を隔てた伝説が  
今、解き放たれます。

【第1回】スサノオ・イソタケル 神話学習講座

## 石見を往来した神々 スサノオノミコト・イソタケルノミコト

2010年 10月9日(土) 14:00~16:00 **受講料無料**  
予めお申し込みが必要です。

講座会場 **五十猛まちづくりセンター** 大田市五十猛町1481-2

講師 島根県立古代出雲歴史博物館  
 専門学芸員 **森田喜久男 氏**



**1 神島(かみしま)**  
スサノオノミコト・イソタケルノミコトらが最初に上陸されたと言えられる島です。



**2 神上(しんじょう)**  
神島に舟を乗りだ後、スサノオノミコトらが最終的に陸地にあられたとされる浜辺です。



**3 韓神新羅(からかみしらぎ)神社**  
スサノオノミコトを主祭神とし、地元では「大浦神社」「明神さん」と呼ばれています。



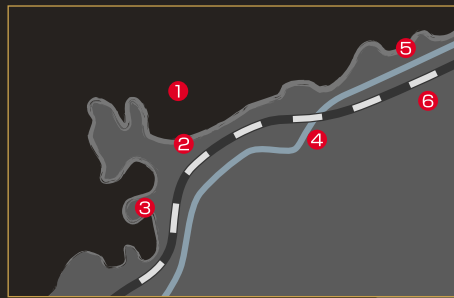
**4 神別れ坂**  
イソタケルノミコト・オオヤヒメノミコト・ツマツヒメノミコトの3兄妹の神が別れになった場所です。



**5 逢浜(おうはま)**  
神々が再会した橋があったとされる場所です。今はコンクリート橋が架かっていますが。



**6 五十猛(いそたけ)神社**  
主祭神は地名にもなったイソタケルノミコト。周中に木種を蒔いた神とされています。



スサノオ・イソタケル 神話学習講座

■主催 / 石見 和田珍味・大田市立西部公民館・大田市西部まちづくり支援センター  
 ■後援 / 大田市観光協会・(社)島根県観光連盟・大田商工会議所・五十猛町自治協議会